

《シルクロードの自画像》1981年 青森県立美術館蔵



昭和の版画師
生誕100年

関野 準一郎展

2014年10月4日|土| - 11月24日|月|祝|

青森県立美術館
AOMORI MUSEUM OF ART



故郷青森をはじめ、日本、そして世界各地の風景や人物を描いた版画作品で多くの人々に親しまれている**関野準一郎**（1914-1988）。

大正の初めに生まれ、昭和の終わりとともに世を去った関野の画業は、江戸時代から続く浮世絵の伝統と、海外からもたらされる新しい技術や知識という、相対する二つの要素と向き合いつつ、時代にふさわしい表現を切り拓いていこうとしたものであり、それはまた、第二次世界大戦後に世界的な評価を確立する日本の近代版画の発展の一翼を担うものであったといえるでしょう。

生誕100年を機に、木版画による代表作をはじめ、独自の表現を追求した実験的手法による作品、さらに銅版画や石版画、コラグラフなど多様な技法に精通していた関野の多彩な作品の魅力をあらためて紹介し、60年近くに及ぶ創作の軌跡を辿る、初の本格的な回顧展を開催します。

展示では、作品に加えて版木やスケッチ、蔵書など創作に関わる貴重な資料から、彫りや摺りに工夫を凝らした版画ならではの表現技法の数々、そして関野が作品に込めた想いを解き明かします。さらに、生涯慕い続けた**今純三**や**棟方志功**をはじめとする同郷の作家、上京後の**恩地孝四郎**のもとでの「一木会」や、戦後に東京、高円寺にあった関野の自宅で開催された銅版画研究会（通称「火葬町銅版画研究所」）など、多彩な作家たちとの交流を紹介するとともに、歌川広重や川瀬巴水等による作品との比較から、関野が伝統とどのように向き合ったのかを探ります。総数300点を超える作品と関連資料に基づいて、関野の著作から引用したタイトルによる7つの章から構成します。

プロローグ：大正の少年 — 青森／青春期—

- 第一章：版画を築いた人々 — 青森から東京へ／青年期—
 - 第二章：木版画の楽しみ — 1950年代～60年代前半／模索の時代から—
 - 第三章：街道行旅 — 1960年代～／ライフワーク その1—
 - 第四章：人間を彫る — 1960年代～／ライフワーク その2—
 - 第五章：珍本・奇本・稀覯本 — 関野の本棚—
- エピローグ：ポブラと校舎 — 青森／わがふるさと—

関連イベント ※詳細は青森県立美術館までお問い合わせください

■木版画制作ワークショップ ～多色摺りを体験してみよう～

開催日：10月4日(土) 講師：関野 洋作 氏
定員：小学生以上のお子様と保護者10組まで 参加費：無料(事前申し込みが必要です)

■銅版画制作ワークショップ ～銅版画の線を描き出す～

開催日：11月8日(土)・9日(日) ※2日通しての参加が必要です 講師：戸村 茂樹 氏
定員：高校生以上10名まで 参加費：無料(事前申し込みが必要です)

■学芸員によるギャラリートーク (展覧会チケットが必要です)

日時：11月9日を除く毎週日曜 13:30～

会 期：2014年10月4日(土)～11月24日(月・祝)
休 館 日：10月14日、27日、11月10日
観 覧 料：一般 900円(700円)、高大生 700円、小中生無料
※()内は前売および20名以上の団体料金。 ※心身に障害のある方と付添者1名は無料。
開 館 時 間：9:30～17:00(入場は16:30まで)
主 催：関野準一郎展実行委員会
(青森県立美術館、青森市教育委員会、みちのく銀行、青森放送、青森県観光連盟)
協 賛：◆芝管工株式会社、丸大堀内株式会社、①ハッピードラッグ、
②竹中工務店、③ヤマトロジスティクス株式会社
協 力：青い森鉄道、青森高校同窓会
後 援：朝日新聞青森総局、エフエム青森、河北新報社、産経新聞社青森支局、
デーリー東北新聞社、東奥日報社、日本経済新聞社青森支局、NHK青森放送局、
毎日新聞青森支局、陸奥新報社、読売新聞青森支局、青森県教育委員会
助 成：SABRETTA ボーラ美術振興財団 POLA ART FOUNDATION
前売チケット販売所：ローソンチケット(28511)、チケットぴあ(766-376)、
ポみっと!チケット、県内各プレイガイド 等
問い合わせ先：関野準一郎展実行委員会(青森県立美術館内) 〒038-0021 青森市安田字近野185
Tel. 017-783-3000 <http://www.aomori-museum.jp>

※同時期開催の常設展示：「青森の版画・日本の版画・世界の版画」
関野準一郎展ご観覧の方は割引料金でご観覧いただけます。



《河畔》1936年 町田市立国際版画美術館蔵



《妙山》1976年 青森県立美術館蔵



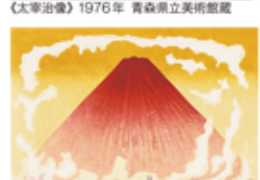
《画家の息子(青い少年)》1952年 青森県立美術館蔵



《大津治像》1976年 青森県立美術館蔵



《成る道徳》1954年 青森市教育委員会蔵



《赤富士》1976年 青森市教育委員会蔵



《魚の森》1957年 青森県立美術館蔵



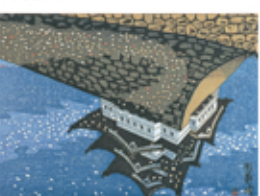
《ニューヨーク》1959年 青森県立美術館蔵



『陸奥の四季』より《青春駅》1980年 青森県立美術館蔵



《棟方志功像》1968年 青森県立美術館蔵



『陸奥の四季』より《弘前城》1980年 青森市教育委員会蔵



《紅土》1975年 青森県立美術館蔵



《沢谷のリ子像》1981年 青森市教育委員会蔵